

大ジャンプ

渥美 理湖

○私のスリルがあ、たなというものは、川の
太きい岩から川へ大ジャンプするといふもの
で、保育園からやっていた、スポーシウラプ
でのキャンプで、川へ遊びに行くといふこと
をしていて、そうすると、先生が、大きな岩
を見つけ、そこから、
「ジャンプしたい人いる。」

と、大きな声で言っていたのが、聞こえまし
た。私は、そこで、みんなが行っていて、私
だけ、行かないのもいやなので、行こうとし
ましたが、これくて、行けません。
「あんなに高い所から、ジャンプしたら、こ
ろすぎますよ。」

と、おびえていましたが、友達が、一緒に行
こうよ、と、呼びかけてくれ、その友達と一
緒に、ジャンプすることにし、その列に並び、
「ジャンプをしてみました。すると、

「ガバ——ン」

「ブクブクブク……あれ？　こりくないなと思ひいま
した。ただこれいと思わず、チャレンジして
みんはいいということが分かりました。その
よびかけてくれた友達も、感謝しています。」